



Let's TANDQ便り

本質を問う学びへ 教室の学びを変えるためのニュースレター

今号の内容

探究ミニセミナー & 交流会【第5回】の開催報告

「探究の共創 in Winter」開催のご案内

今日の目標

事前事後学習を含めた修学旅行の探究化にむけた取り組みのためのレンズの獲得




東京学芸大学高校探究プロジェクト

「総合的な探究の時間」 探究ミニセミナー & 交流会 【第5回】


私たちの『探究』をつくらうプロジェクト



 開催日時

2023年10月5日（木）
16:00～17:00

オンライン開催

 話題提供

「教育旅行の探究化」に向けた取り組みの紹介
- 旅行・観光を学びのツールとした探究型の教育プログラムづくり -

有限会社おきなわ教育ラボ 取締役 神部 愛 氏
近畿日本ツーリスト 名古屋教育旅行支店 原田 慎也 氏

 全体交流

話題提供をもとに、修学旅行の事前・事後学習を、いかに探究型にしていくか、これからの教育旅行のあり方について、ともに考えましょう。

共創することで広がる教育旅行での学び

10月5日（木）に「教育旅行の探究化」をテーマに開催しました。全国の高等学校の先生方を中心に、高校生や修学旅行に関わる方、保護者など、多くの方にご参加いただきました。

はじめに、有限会社おきなわ教育ラボ 取締役の神部氏から修学旅行をサポートする立場として、教員と旅行会社の営業マンとの間で、修学旅行の目的等について共通理解がなされているか、また、誰にとっての「よい」修学旅行プランなのか？ 各校でデザインできる余地はもっとあるのではないかと問題提起をしていただきました。そして、今夏に教育旅行の営業担当者を対象として実施された「学校支援コーディネーター研修会」をご紹介いただきました。

次に、その研修会に参加された原田氏から、グループで立案された修学旅行プランや研修を通しての感想をお話いただきました。プランの立案にあたっては、学校の教育目標に照らして、修学旅行の目的や身に付けてほしい力を設定し、タビマエ、タビナカ、タビアトでのプログラムや学びを深める視点をご説明いただきました。そして、よりよい修学旅行とは何かを、学校の先生方、旅行会社の方、地域の方、保護者の方と探究し続け、子供たちのためにつくっていきたくてお話いただきました。

全体交流時には、現地での体験を通じて得られる学びの価値や、修学旅行で学びを終わらせるのではなく、そこで得た学びを日頃の学習活動につなげていく重要性が話されました。また、参加者の方から多くの意見が寄せられ、修学旅行で探究的な学びを実現するための様々なかたちや実現する際の壁、そしてそれらの壁を越えるための共創の必要性が話されました。終了後のアフタートークにも多くの方に残っていただき、大変有意義な交流会となりました。

参加者のご感想

- ・学校行事や学習において、全てを教師が決めて、教師から与えられた問いを考えるのではなく、**生徒が主体的に企画し、自分たちの問いを考えることができる**とよいのではないかと思います。また、修学旅行にも、生徒それぞれの興味関心を深める活動を取り入れられたらもっと楽しいものになるのではないかと思います。（高校生）
- ・探究活動を広めていくにあたって、**教育旅行という着眼点が素晴らしい**と感じました。教科とは性質が違うので探究化という文脈で議論されることがあまり多くないと思いますが、確かに**教育旅行は生徒にとって探究的な活動を行える貴重な場**です。しかし、セミナーで語られていたように「慣例で」「何となく」行ってきてしまっているということが往々にしてあるので、いま一度**生徒が成長する大切な教育活動の一つであるということ**を認識し、**探究的に創っていくことを考えなければならない**と感じました。旅行会社やコーディネーターの方が学校の教育旅行を探究化するというにこれだけ前向きなのだということがとても励みになりました。（高校教員等）
- ・修学旅行の行先にあまりこだわらなくてもいいかという気になりました。それよりも、生徒が何を学びたいか、生徒に何を学んで欲しいかが大事だと気づきました。（指導主事等）
- ・「修学旅行は生徒のため」という言葉が何度か挙がっておりましたが、子供たちが興味のないことを強要されてもうまくはいかないと思います。**出発点は、子供たちは何に興味があるのか、何が楽しいのか、にあり、まずそれを子供たちと先生方が共有することが必要だ**と思います。保護者となり残念に思ったことは、学校に保護者が先生を応援する機会がないということです。「共創」と言える状態ではないと感じています。教育の場は、**もっと多くのいろいろな立場の人たちで「共」につくっていけるようになる**と良いなあと感じております。（会社員等）

いろいろな立場の方と「共創」の場を

本プロジェクトで取り組んでいる授業研究ワークショップにご参加いただいた方から、以下のようなお声を頂戴しました。

「今年度実施する教育旅行において、ワークショップでつながった先生との関係から、学校交流を実施できることになりました。**授業研究を通じた全国の先生とのつながりが、こんなカタチで実を結ぶこともあるのだと驚いています。**授業だけではなく、学校行事なども探究化したいというときに、同じように探究的な活動に関心を持たれている先生と繋がるようなプラットフォームがあれば、全国的にもっともっと有意義な交流活動が広がっていくのだろうと思います。」

今回は教育旅行をテーマに設定しましたが、他にも、様々な探究のカタチがあります。**12月17日に対面開催する「探究の共創 in Winter」**では、興味・関心があるテーマにわかれていただき、学びの当事者である高校生の声を聴きながら、いろいろな立場の方で、何を目標に、どのような取り組みをしたいか、何ができるか等について対話し、高校における「探究」の姿を探る「共創」の場を創ります。多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

第1部
10:00-12:00
ワークショップ
私たちの『探究』を共創しよう！
分科会に分かれ、テーマに則して、学びの当事者である高校生の声を聴きながら、何を目標に、どのような取り組みをしたいか・できるかについて対話し、高校における『探究』の姿を探ります。

東京学芸大学
芸術館&
西4号館

「総合的探究の時間」
探究ミニセミナー&交流会【第7回】

<分科会>
A 探究の共創
①教育旅行
②地域課題
③企業等との連携
④不登校生や小規模校での探究
B 高校生による教育研究
C 主催者教育・性教育等

どなたでも参加可能！
いろいろなお立場で
ご参加ください。
テーマも
募集中です！

探究の共創
in Winter
2023.12.17
(Sun)

第2部
13:00-15:00
ポスターセッション
探究過程を交流して
マイストーリーを創ろう！
高校生による探究活動の経過報告をもとに立場を超えて交流しませんか。新たな考えや価値観に出会えるチャンス！今夏に開催したバーチャルポスターセッションのリアル版です！

プログラム
10:00 オープニング
10:10 本イベントの趣旨説明
10:15 ワークショップ
12:00 昼食タイム
13:00 開会宣言
13:20 ポスターセッション&交流
(4サイクル)
15:00 クロージング

Googleフォームより、お申し込みください。
詳細もご確認ください。
<https://forms.gle/3Y859kaKTAAR2z88>
発表申込期間：12月13日(水)
参加申込期間：12月13日(水)
※発表方法・参加に関する詳細は
お申込書に随時連絡します。

【お問い合わせ先】
東京学芸大学 高校探究プロジェクト
g_tanq@ml.u-gakugei.ac.jp

「探究の共創 in Winter」のご案内

高校生のみなさん、ぜひ、探究を進めている過程での学びや悩みを聞かせてください。いろいろな立場の方との対話を通して、あなたならではの探究の道筋・マイストーリーを見いだす場にしたいと考えています。また、第1部、第2部ともに、どなたでも参加可能です。詳細は、Webページよりご確認ください。

<https://g-tanq.jp/miniseminar#7>

＊＊ 開催概要 ＊＊

開催日時：2023年12月17日（日）

開催方法：東京学芸大学にて対面開催

参加費：無料

発表(高校生)の申込み：2023年12月8日(金)まで

参加(発表以外)の申込み：2023年12月13日(水)まで

＊＊ タイムスケジュール ＊＊

<第1部>

- 10:00 開会の挨拶・趣旨説明
- 10:15 アイスブレイク
- 10:30 ワーク
- 11:30 全体共有
- 12:00 第1部終了

<第2部>

- 13:00 開会宣言・目的や流れの説明
- 13:20 ポスターセッション&交流会
- 14:50 閉会宣言
- 15:00 クロージング

